

総合調査設計株式会社
Sogo-Chosa-Sekkei Co.,Ltd. presents

大阪探検隊

Osaka City Expeditionary party

vol.017

[京街道]

Kyo-Kaido



総合調査設計では、大阪を中心としたまちの魅力を発見、発掘することを目的として「大阪探検隊」なる活動を行っています。

今回は、地下鉄守口駅を起点として、京街道と周辺の史跡を探索してきました。

はじめに～京街道について

京街道の概要

天正の時代、秀吉は、大坂城、淀城、伏見城を次々と築城し、淀川左岸にそれらの城をつなぐ軍事道路と治水、運搬をかねた堤防をつくります。(文禄堤)

秀吉の時代の主要交通は船であったため、文禄堤は治水とともに、年貢米や特産品の運搬を行う淀川の水運形成に大きな役割を果たしていました。

京街道は、その堤防を道として利用したのがはじまりで、大坂城京橋口を起点に京都の鳥羽口と伏見の京橋につながりました。



そして、江戸時代には幕府公用の主要道路として本格的に整備が行われ、守口宿・枚方宿・淀宿・伏見宿の四つの宿駅が置かれたそうです。

宿駅 = 街道沿いの集落で、旅人を泊めたり、荷物を運ぶための人や馬を集めておいた宿場のことです。また「伝馬」とは、幕府の公用をこなすために宿駅で馬を乗り継ぐ、その馬のことをいいます。

図及び上記文)

国土交通省ホームページより

●京街道歴史施設巡りルートマップ



現在、京街道では一部のまちなみに、その歴史をかいま見ることができます。また、大阪市をはじめ、各都市で道しるべや道路の美装化などの旧街道整備が行われており、大阪の歴史資産の継承がなされています。



盛泉寺（じょうせんじ）周辺



地下鉄守口駅から、白井邸を経由して、盛泉寺に向かいます。途中、国道に近接する白井邸に立ち寄りました。

白井邸：大塩平八郎ゆかりの書院があったところで、当時の白井家の主人である孝右衛門は、早くから平八郎の弟子として経済的援助を行う協力者だったそうです。

平八郎は、ここで守口近郊の農民達に講義を行っていたそうですが、大塩の乱についての計画なども行っていたのかもかもしれません。

今では、その面影を家のつくりや蔵からうっすらと感じとれるのみとなっています。

盛泉寺（じょうせんじ）：大久保利通が新政府に進言した大阪遷都を受ける形で、明治天皇が大阪行幸を行った時に内侍所となり、三種の神器の一つ「八咫鏡（やたのかがみ）」が安置されました。

この行幸は50日におよぶ長いものでしたが、江戸無血開城が実現し、前島密から江戸遷都が進言されると明治天皇の京都還幸が決定。

ついに大阪遷都は実現するに到りませんでした。



ところが、実は東京遷都というの厳密な意味では行われていません。遷都には時の天皇の遷都の詔勅というのが必要ですが、明治天皇が遷都の詔勅を発行していないというのが理由です。従って厳密には、天皇が今も東京行幸中だと言うことになるそうです（？）。

注1）内侍所（ないしどころ）...宮中の賢所の別名で、神鏡を安置し守護するところ

注2）八咫鏡...皇祖神であり日の神とされる天照大神（あまてらすおおみかみ）の神霊が宿る鏡

注3）三種の神器...「皇位のしるしとして伝えられている三つの宝物。八咫（やた）の鏡・草薙（くさなぎ）の剣（天叢雲（あまのむらくも）の剣）・八咫瓊（やさかに）の勾玉（まがたま）。

難宗寺（なんしゅうじ）



難宗寺は、蓮如上人が、文明9年（1477年）に創立した守口御坊が始まりと伝えられ、慶長16年（1611年）に本願寺掛所となり西御坊と呼ばれるようになったそうです。

境内には、齢約500年、高さ約25m、直径約1.5m、枝張約15mの大いちょうがあります。

このイチョウは、昭和50年（1975年）に大阪府の天然記念物に指定されたもので、晩秋には何十万の葉が一斉に舞い降り、あたり一面を黄色い葉が覆い尽くすそうです。

12月中旬のこの日は、散ってしまった後でしたが、お寺の屋根にうっすらと化粧をほどこしていました。



奈良街道道標（来迎坂） 京阪守口駅近くの文禄堤



石材でつくられている来迎坂は、都市の中での柔らかな時間を感じさせる空間を形成しています。

坂をあがると、奈良街道の道標があり、文禄堤に到着です。



文禄堤には、「うだつ」の残る建物が、
今も宿場町としての面影を感じさせてく
れます。

うだつ = 隣家との境に造った防火壁。
これを作る（上げる）には巨額の費用がか
かるため、いつしか富や出世の象徴となっ
た。「うだつが上がらない」の言葉は、こ
こから生まれたと言われる。



周辺の電柱は、竹調で美装化されており、そこには「文禄堤」
と記されたサインが取り付けられています。

そして、かつて舟の停泊所があったといわれている橋
を渡ります。道路の高低差や周辺の擁壁が、川があっ
たという面影を感じさせます。



義天寺

義天寺は、明治23年の建立で比較的新しいお寺です。
正面に置かれた題目石は、通説では野江刑場にあったといわれていますが、当時の二代目ではないかという説もあるようです。

野江刑場は、江戸時代に豊臣残党の処刑をしたと言われているところです。

現在の京阪電車が開通する以前は、大阪東野田まで馬車が運行されていたそうですが、ここにその駅があったそうです。



守居神社

京阪土居駅近くの守居神社は、商店街の中に佇んでいます。

~守居神社は、延喜18年(918年)淀川洪水のとき、西南石礫の淵で「我天道神也、我を祀れと振鈴の聲で告があった」ので「土を居いて」お祀りしたのが始まりと伝えられ、社名は、守口と土居の各1字を用いて守居と呼称されています。

(守口市ホームページより)



【コラム：大阪市と守口市境界道路】

守居神社から、内環状線を通り大阪市へ。

市の境界線ですが、ここは一方通行の道路。水道の管は、それぞれの管が通っているのか定かではありませんが、両市のバルブを明示する蓋が見られます。

こうした道路の整備や管理をどのようにするか、疑問に思われました。



蓋マニアにはたまらない？

写真上)
両サイドに各市の
水道バルブ蓋

写真左) 大阪市
写真右) 守口市



宝龍寺（くすのき）

宝龍寺へと向かう途中、ルートが分からなくなりさまよっていると、遠方に大きなクスノキが見えます。

それはお寺の御神木である、樹齢千年近い天然記念物の大きなクスノキ（四本）でした。

お寺は一部、鉄筋コンクリート造でつくられています。このクスノキや樹の作り出す陰影が、絶妙にマッチしていて、歴史あるものと新しいものが混在して美しい風景を創出していました。



京阪電車の旧軌道跡敷



千林商店街での昼食を済ませ、一路南の京橋方面へを向かいます。城北運河、古市橋の近くに京阪電車の旧軌道跡を利用した公園に到着。

現在と異なり、地図からも旧軌道の利用した公園としてうかがい知ることができます。

その軸の一部は、千林商店街の中にも見ることができます。

京街道七曲がり・一里塚跡

都島通、地下鉄関目駅近くの街道は屈曲しています。(京街道七曲がり)



秀吉がこの付近を防衛線として意図的に作ったという説が有力ですが、実際の所では河川の蛇行に合わせたためとも考えられています。

400年のその昔。歴史の面白さには、こうした不明瞭な部分も必要ではないでしょうか。

この一里塚は、東横堀川の高麗橋から一里(約4km)のところにあったことが由来しているそうです。



高麗橋の橋詰めには、明治時代にも高麗橋東詰を距離計算の起点としたという石碑が設置されています。

(写真左：大阪府中央区高麗橋東詰)

榎並城跡伝承地・榎並猿楽発祥地 水神社

榎並(えなみ)の地名は江の南であることが由来しているそうですが、この辺りはきわめて条件の悪い低湿地で、淀川の氾濫による洪水によって度々被害をこうむる土地であったそうです。

その榎並に、三好政長()が榎並城を築き、子の正勝とともに居城。城の面影は全くありませんが、歴史を継承する石碑の背後では、グラウンドで野球に熱中する子供達の声援が響き渡ります。



三好政長...細川晴元に仕える。足利義維を擁立し將軍足利義晴を近江に追放するなど有力な軍勢として活躍。三好元長に没後は晴元政権の中心人物となるが、三好長慶と数度にわたり戦い、摂津・江口で討死



猿楽は、能楽の母体となった中世芸能で、社寺の祭事に奉仕していました。

日本発祥の田楽とは異なり、8世紀の初めに中国から伝わったそうで、内容も田楽とは違って、滑稽な物まねや言葉芸が中心で、庶民的な劇だったそうです。

榎並猿楽は、この付近に座を構え、住吉神社に奉仕を行い、特権を得ていたそうです。

城跡に近接する水神社は、榎並城の水難の守り神として建てられたと伝えられています。そのため現在では、火除けの神、また水に関連する商売や安産の神様として崇敬があるそうです。

京街道道標

中三商店街から南下し、京橋中央商店(リブ・ストリート)を抜けて京橋駅に到着。日曜日のこの日は、自転車やバイクの駐車が多く、まるでバイク展示場のようにきれいに並んでいます。

感心している場合ではないのですが、バイクはバイク、自転車は自転車と統一されて並んでいます。植栽帯の中に、ひっそりと京街道の道しるべが建てられています。



地下鉄守口駅を 10:30 に出発して、京橋には 15:30 ごろ到着。今回も、大坂の歴史の一部を勉強させていただくことができました。ご指導いただきました先生、ありがとうございました。

京街道案内あれこれ



写真上3つ) 大阪市整備旧街道サイン、新旧と説明版



写真上3つ) 守口市整備舗装銘板とサイン

写真左)
千林商店街ビル建てかえ仮囲い



写真右) J R 環状線

